

# アクセシビリ

2016年10月1日

北星学園大学

アクセシビリティ支援室通信

第2号

こんにちは!北星学園大学アクセシビリティ支援室です。

秋の季節となりましたね。第一号、読んでいただけましたか?

「アクセシビリ」は教育支援課③番窓口とA館1階掲示板前のテーブルに置いてあります。どうぞ、ご自由にお取りください。

今号ではアクセシビリティ支援室室長の田実潔先生からメッセージを頂きました。

今年4月から発足したアクセシビリティ支援室の田実潔です。

まだ部屋のハード面が整ってなくて、名前だけが一人歩きしている感じがしていますが、もうすぐアクセシビリティ支援室もできあがってお目にかけることができるかと思っています。

さて、学生の皆さんや保護者、一般の方々には大学生が単位を取得できなくて留年したり卒業延期になったりすることは良くある話だと思っらっしゃるのではありませんか?

しかし、大学は、一度お預かりした学生さんに4年間でちゃんと卒業してもらい社会に送り出す義務を負っています。多くの学生さん達は特段の配慮や支援がなくても4年間で単位を取得し卒業していくことができます。しかし、なかには体調がすぐれない日々が続いていたり、学修への意欲を失ってしまっていたり、なんらかの心身の障がいによってそのままでは大学生生活を続けることに困難を感じてしまったりする学生さん達もいます。そのような学生さん達の中には、大学が合理的配慮\*に基づくサポート(支援)を行うことで4年間の学生生活を全うし無事に卒業していくことができる人達も多く見受けられます。

そのためにどんな支援が必要か、その支援は合理的配慮に基づいているのか、検討し具体的支援策の策定を行うのがアクセシビリティ支援室の主な働きです。すべてが万事うまくいくわけではありませんが、支援を必要としている学生さん達が納得のいくまで話し合っ、できるだけよりよい支援ができるように取り組んでいます。

ハードルが高いと感じている学生さんや、アクセシビリティ支援室って何をやってんの?と疑問を感じている方々もおられるかと思いますが、できるだけ分かりやすくオープンなアクセシビリティ支援室でありたい、と思っています。北星学園大学・北星学園短期大学の建学の精神のなかに、『抑圧や偏見から解放された広い学問的視野のもとに、異質なものを重んじ、内外のあらゆる人を隣人と見る開かれた人間』の育成を謳っている箇所があります。アクセシビリティ支援室もこの考えに基づき、支援を必要としている学生さん達、保護者や関係者の方々の良き隣人として寄り添う働きができればいいな、と考えているところです。

これからどうぞよろしくお願い致します

\*合理的配慮:障害の状態や性別・年齢などを考慮した変更や調整、サービスを提供すること



## いろいろある支援機器



### ★「拡大読書器」

○今までに聞いたことや  
授業内などで見た事がありますか？



この支援機器は視覚に障害がある方が使用し効率的な学習を支援するための機器です。

機器の中にはカメラがついておりモニターに拡大され映し出される機器です。本学では、現在、4器の読書器があり、内、2台を可動式テーブルの上に載せ教室へ移動できるように準備しています。これを利用学生が自分で教室へ運び、設置しています。

エレベーターや教室移動している時にはご協力をお願いします。



### ○どのように使用しているの？

- ① 置台に教科書や本、資料等をおきます。
- ② 置台は縦横に動くので自分で読みたいポイントへ資料などを動かして読みます。
- ③ また、コントローラーでモニター画像の拡大率、照度、コントラスト等を調整することも可能です。

## アクセシビリティ支援室

- 窓口は教育支援課③番です。
- プライバシーに十分配慮し、希望があれば面談時には個室を使用します。
- 窓口のほか、電話やメールでも相談を受付しています。お気軽にご連絡ください。

電話:011-891-2731(代表)

mail:[acc-support@hokusei.ac.jp](mailto:acc-support@hokusei.ac.jp)

## ！サポートスタッフ募集中！

利用学生を助ける学生サポートスタッフを  
随時募集しています。

初めての方でも大丈夫!!

講習会に参加して頂き、その後スタッフとして活動して頂きます(有償)。

ぜひ、あなたもサポートスタッフとして活躍してみませんか？

例) ノートテイク、教室移動のサポート、  
資料などの文字起こし、等



何かしらの支援があれば上手くいくかも…。  
その他、障害やその他の理由で困難に感じている方、  
まずはお気軽にご相談ください。

